

令和3年度 第3回 図書館協議会 会議録

1 日 時

令和4年3月15日（火）午前10時30分～午前11時50分

2 場 所

ラトブ4階 いわき総合図書館学習室

3 出席者

(1) 委 員

委員長 草野 チエ子

副委員長 小野 順一

委 員 中村 陽子、柳田 明美、草野 祐香利、有賀 史人、栃内 賢一

欠席者 大沼 明美、三重野 徹、長岡 智子

(2) 事務局

ア いわき総合図書館

館長、武山副館長、大浦副館長、渡邊主任主査、田仲主任主査、

総務管理係長、村木主査

イ 地区図書館

勿来図書館長、常磐図書館長、内郷図書館長、四倉図書館長

4 開 会 事務局

（委員10名中7名が出席しており、いわき市立図書館協議会規則第4条第1項の規定による半数以上の出席があり、会議が成立した。）

5 いわき総合図書館長あいさつ 館長

6 委員長あいさつ 草野（チ）委員長

7 議事

いわき市立図書館協議会規則第2条第3項の規定により、草野（チ）委員長が議長となり、会議を進行した。

(1) 報告事項

事前に資料を送付することで、事務局からの説明は割愛した。

ア 令和3年度図書館利用実績等（1月末日現在）について

- イ 電子図書館の利用状況について
- ウ 新型コロナウイルスに対する市立図書館の対応について
- エ 図書館事業に係る市議会からの質問及び答弁について
- オ 図書館協議会委員からの質問とその対応状況について
- カ 令和4年度当初予算について
- キ 読み聞かせボランティア団体「おはなしたまてばこ（会長 吉田 成子 氏）」の令和3年度ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰について

(質疑応答)

委員 長：読み聞かせボランティア団体「おはなしたまてばこ」のボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰について、長年継続して活動していることが評価され、表彰に至ったのではないかとすると、とても価値のあることであり、非常に嬉しく思う。

中村委員：会議資料13頁「電子図書館の利用状況について」、貸出点数と予約件数がそれぞれ2,501点と同数になっているが、これは、予約をしなければ借りることが出来ないことから同数となっているのか。

事務局：貸出中や予約の入っていない電子書籍は、すぐに貸し出しが出来る仕様となっており、今回、貸出点数と予約件数が同数であったのは偶然である。

(2) 協議事項

- ア 令和4年度運営方針、重点事業及び主要事業（案）について
事務局より、会議資料25～29頁に基づき説明した。（田仲主任主査）
- イ 令和4年度事業計画（案）について
事務局より、会議資料30～36頁に基づき説明した。（田仲主任主査）
- ウ 令和4年度移動図書館運行計画（案）について
事務局より、会議資料37～38頁に基づき説明した。（渡邊主任主査）
- エ 図書館運営の数値目標と第4期子ども読書活動推進計画の数値目標の現状について
事務局より、会議資料39～40頁に基づき説明した。（大浦副館長、村木主査）

(質疑応答)

草野(祐)委員：会議資料 31 頁の、令和 4 年度事業計画（案）に係る「第四期いわき市子ども読書活動推進計画」の推進について、10 か月児健診時に実施する「赤ちゃんへのはじめての絵本事業」は、現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止しているが、その休止期間と代替事業の有無について知りたい。

事務局：「赤ちゃんへのはじめての絵本事業」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、およそ 2 年間休止となっているが、保健師に依頼し、健診時に赤ちゃん絵本パックのチラシの配布や、消毒をしながら実際に絵本を見ていただいたりしている。当事業は平成 17 年度から実施しており、当初は各地区ごとに実施しており、当事業をきっかけに最寄りの地区図書館の利用促進につながっていた。現在は、コロナ禍における事業実施のあり方について、保健師と協議を進めているところである。

副委員長：デジタルトランスフォーメーション推進の中で電子図書館というものも出てきたのだと思うが、今後、更なる電子化の推進についてどのような考えを持っているのか。

事務局：今後は、他自治体の取り組み等も参考にしながら、電子図書館と図書館システムの連携について、検討していきたいと考えている。

中村委員：会議資料 37～38 頁の、令和 4 年度移動図書館運行計画（案）について、駐車場所に新たに追加されている印「(※)」は何を意味するのか。

事務局：本来は各施設より駐車場をお借りし、その施設の方だけではなく地域の方にも移動図書館のステーションとして広く利用いただいていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、施設側より施設関係者以外の利用を不可とされたステーションについて、印「(※)」をつけたものである。

柳田委員：コロナ禍にあり、支援学校等で読み聞かせを実施する際には、二重マスクに加えてフェイスガードも使用する等、大変気を使っている。本も借りるのではなく購入したり、読み聞かせでは自作のパネルシアターを

使用したりと、どうしても大型絵本を借りなければいけない時以外は、図書館を利用する機会がなくなっている。出入り口に手指消毒液を設置する等、図書館でも対策はしているが、マスクをしていない利用者を見かけたりすると、つい来館を躊躇してしまう。

事務局：利用者のマスク着用率については、地区図書館ではほぼ100%、総合図書館でも99%となっている。ただし、入館後にあごマスクにしたり、はずしたりしてしまう利用者もいらっしゃるので、そうした方を見かけた際には、お声掛けをするようにしている。それでも目の行き届かない場合もあり、様々な利用者がいるなかにあっては、館内での滞在時間を出来るだけ短くすることが全ての利用者の安全を守るうえで必要な対策であると考え、閲覧席を撤去することで、利用者一人当たりの平均滞在時間を30分以内とするよう努めている。

草野(祐)委員：図書館は人を育て、生活の質を向上させる場所であると考えているが、次年度の事業計画等について、現在の社会状況等も踏まえたうえで、図書館活動をより充実させていく内容となっていることが確認できた。子育て世代向けの新たなサービスとして、子育てお役立ちマップの作成等を実施するというのも良い取組みだと思う。

有賀委員：地域について調べる際の入り口として本は有益なものと考えているが、最近では本よりもパンフレットやチラシ、絵はがき等といった資料を利用する方のほうが増えてきているので、図書館における地域資料の収集についても、その点に留意すると良いと思う。

栃内委員：毎日のように図書館を利用しているが、現在は閲覧席が使用休止となっており、立ったまま本を読んでいると腰が痛くなってしまうことから、椅子の設置等について対応を検討して欲しい。

事務局：閲覧席の使用休止については、利用者一人当たりの平均滞在時間を短縮することとなるものと判断し実施しているものであり、引き続きの御理解と御協力をお願いしたい。図書館においては、県内及び市内等の感染状況について注視しているところであるが、感染経路の推定について、現在は経路不明の割合が高く、市中感染が発生している状況にあること

から、こうした状況が落ち着いてくれば、少しずつ閲覧席の使用休止について緩和していきたいと考えている。

委員長：電子図書館については令和3年12月からの運用開始ということで、まだ分からないことも多いが、会議資料15～19頁の、電子図書館の導入に係る市議会からの質問及び答弁についての記載を見て、理解を深めることが出来た。また、次年度の事業計画（案）については、子ども向けの新規事業が多く、子どもの読書活動推進のために良く検討された内容となっており、職員等の資質向上のための研修が多く計画されている点も評価できる。

※ 質疑応答の後、委員長より、本協議事項について委員に賛否を諮ったところ、出席委員全員異議なく、事務局（案）のとおり承認された。

8 その他

柳内総合図書館長及び大浦総合図書館副館長が定年を迎え、本年度末をもって退職することから、一言ずつ挨拶をした。

9 閉会